

用語：交通

「交通」とは

人や乗り物が道を行ったり来たりすること。人が互いに行き来すること。通行。往来。

「交通手段」

交通のための手段。ある場所から他の場所に移動するための手段としての乗り物。

出典：日本国語大辞典「交通」

人や物あるいは意思、情報が、ある距離を隔てた地点を移動することを指して交通とよぶ。しかしこれは広い意味での交通であって、意思、情報の伝達が communication として区別される場合には、人や物の移動のことが交通とよばれる。この狭い意味での交通は、運輸、輸送、運送などの名でよばれることもある。

出典：日本大百科全書「交通」

人や物の空間的移動をさし、講義には情報の伝達である通信を含めるが、人や物の移動は運輸、輸送あるいは運送などと呼んで、通信と区別することが多い。

出典：世界大百科事典「交通」

人の移動、物の輸送、情報の伝達のために利用される手段、設備などの総称。人が歩いたり、荷を担いだり、狼煙をあげたりすることもその手段の一つであり、車を使い、舟を走らせたりもするしかし技術の発展や経済、社会の進展と共に、交通手段も飛躍的に便利な設備が利用できるようになった。そのための設備は、通路。運搬具、動力などの要素が、交通という目的のために一つのシステムとして機能するところに特徴がある。

出典：世界大百科事典「交通機関」

「交通」の歴史

古代以来、人類の歴史のうえでは、戦争と通商が交通と異民族間の接触をつくりだしてきたのであるが、近代以前の社会では、自給自足を基本とする社会経済であったために、交通は大量の社会現象とはならなかった。近代の資本主義発達とともに、交通の発達は著しく、国民国家形成の大きな力となるとともに、世界的な交流も盛んとなった。

出典：日本大百科全書「交通」

[古代・中世] 人はそれぞれ生活の場をもつ。農耕民族のように一定の場所に定着している場合もあれば、遊牧民族のように場所を転々と変える場合もある。たとえ定着していても、仕事や遊びのためには繰り返し出歩かなければならない。また増えた人口のための食料を求め、新しい定着の場所へ民族ごと大移動する場合もある。しかし移動したいと望んだと

き、移動のために必要な条件が整っていなければ、すぐ移動できるとはかぎらない。したがって〈移動できる能力（モビリティ mobility）〉の有無が、人の生活に大きな影響をもたらす条件であることは、昔も今も同じである。

出典：世界大百科事典「交通」

[現代]第2次大戦後、モータリゼーションの波は世界各地に及び、交通機関としての自動車の重要性はさらにました。

しかし大都市圏では、むしろ鉄道の輸送力を増強するための投資が行われている。

大都市では地下鉄が、中都市では路面電車が、市民のモビリティを向上させるのに役だっている。

出典：世界大百科事典「交通」

「交通」の需要

需要の多くは他のものに対する需要から派生して生じたものであることがわかる。(中略)通勤・通学についても同様のことがいえる。都市交通を計画する場合に、都市の土地利用、住宅や職場や学校その他の公共施設の配置計画が同時に決定されなければ十分な計画とならないのは、交通需要が施設利用から派生する性質をもっているためである。

出典：日本大百科全書「交通」

「交通」の機能

人が意思を通じ合うために必要とする移動は、なるべく少ない費用で、なるべく多くの効用得ることが望ましい。また急ぎの場合は、移動にかかる費用ができるだけ短縮されることを望む。このように交通は、距離のへだたりをせばめるためになるべく少ない費用と時間で移動できる〈モビリティ〉の向上をその機能とする。

移動は通常速ければ速いほどよいとされるが、移動の目的に、美しい風景を眺めたり、気晴らしをしたりすることが含まれていると、移動のためにむしろたっぷり時間をかける場合がある。移動がある目的のために行われるのではなく、移動そのものを楽しむような場合、快適さを求める費用はむしろいとわない。

産業革命以後、社会を形づくる主役はしだいに農業から工業へ移り、工業化が進展するにつれて、人は村から街へ移り住み、工場地帯の周辺に次々と都市が生まれた。人が行動できる範囲によって年の大きさはおのずと決まってくるが、交通機関が発達して鉄道や自動車を利用できれば、行動範囲はその分だけ拡大し、都市もまたその地域を広げる。一方、人口が減少している農山村では、生活を維持するのに必要な最低限の交通手段を共同利用の形で存続させるのは困難な事態が生じ、地域としてのまとまりはますます弱くなる。

出典：世界大百科事典「交通」

意見

交通は現代においてその機能を拡大させている。その背景には、世界的な交流から、文化の発達を刺激したことにある。しかし交通そのものに需要があるというよりも、交通に伴う、またはその目的を終着点としているものとして、交通の需要が存在する。目的によって、交通手段に違いが現れてくる。また、人、場所によっても現れる。

今回は、図書館の立地に着目しているので、目的とは図書館に行くことにある。よって、あらゆる人が図書館に行くために、より円滑な交通を指すものとする。